

1 健康・福祉

Health & Social Welfare



一人ひとりの命を守り、誰もがいきいきと安心して住み続けられる支え合いのまちを目指し、5つの基本施策を進めます。介護や医療、看取りのニーズがピークを迎える令和22(2040)年を展望して、「まちぐるみの支え合いの仕組みづくり」(武蔵野市版地域包括ケアシステム)を市民と行政とが一体となって推進していきます。

基本 施策

- ① まちぐるみの支え合いを実現するための取組み
- ② 生命と健康を守る地域医療充実への取組みと連携の強化
- ③ 安心して暮らし続けられるための相談支援体制の充実
- ④ 福祉人材の確保と育成に向けた取組み
- ⑤ 新しい福祉サービスの整備

誰もがいきいきと安心して 住み続けられるまちへの取組みを進めます

主な取組みを紹介します

健康づくりに取り組む活動を 支援します



健康体操教室(健康づくり支援事業)

誰もが、より長く心身ともに健康で元気に暮らすことができる社会を目指し、市民が主体的に健康づくりに取り組む活動(セルフケア)を支援します。



地域医療との連携と健康 危機管理対策を強化します



地域医療連携フォーラム



かかりつけ医となる診療所などの関係機関の連携を深めます。併せて健康危機発生時に備え、訓練の実施やBCP(事業継続計画)の更新を適宜行います。

福祉総合相談窓口を中心とした 相談支援体制の強化

福祉に対するニーズは多様化・複雑化しています。どこに相談していいかわからない市民や複合的な課題を抱えた市民の相談に分野横断的に対応するため、体制を強化します。



福祉総合相談窓口



障害のある全ての人が 自分らしい生活 を送る取組み

障害のある全ての方が住み慣れた地域の中で生活できるよう、個々の障害特性に応じた支援を受けられる包括的な相談支援体制を構築します。併せて就労や余暇活動など社会参加の促進を図ります。



障害のある人が作成に関わった商品

福祉人材の確保と育成・ 質の向上

地域包括ケア人材育成センター



地域から介護人材を見出す

地域の介護人材を育てる

あなたの手を
市民の支えに

武蔵野市地域包括ケア人材育成センター



福祉サービスの安定的な提供のためには、福祉人材の確保と育成が必要です。地域包括ケア人材育成センターなどがさらなる連携を図ります。

新しい福祉サービスの整備



市有地活用による看護小規模多機能型
居宅介護事業所のイメージ

今後さらに高まる医療や介護などの複合的なニーズに対応し、市民が在宅生活を継続できるように、小規模・多機能・複合型のサービス及び施設を計画的に整備していきます。

新たな取組み

高齢者の聴こえの支援

加齢とともに聴力が低下しても、その人らしい日常生活の継続を支援するため、聴こえの問題への支援を実施します。

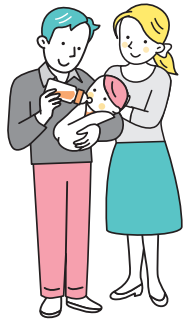
補聴器購入費補助や相談・啓発事業などにも取り組むものです。



福祉総合相談窓口の充実 (精神保健アウトリーチ 支援事業)

精神疾患や心に不調を抱える方(社会的孤立やひきこもりなどを含む)が、地域で安心して生活ができるよう、精神保健アウトリーチ支援事業を開始し、関係機関とも連携して、支援体制を強化します。





2 子ども・教育 Children & Education



子どもが基本的人権を持つ存在であり、子どもの最善の利益を第一に考えることを前提として、子ども自身が一人ひとりがかけがえない存在として認められ、各人の個性が尊重された成長・発達ができるよう支援し、誰もが安心して子どもを産み育てられるよう環境を整備します。そして、子どもと子育てを応援するまちの実現と、変化の激しい時代の子どもに必要な「生きる力」を育むことを目的とします。

基本 施策

- ① 子どもたちが希望を持ち健やかに過ごせるまちづくり
- ② 安心して産み育てられる子育て世代への総合的支援
- ③ 子どもと子育て家庭を地域社会全体で応援する施策の充実
- ④ 子どもの「生きる力」を育む
- ⑤ 教育環境の充実と学校施設の整備

＼まちぐるみで子どもの豊かな育ちを支えます／

主な取組みを紹介します

さまざまな部門が 連携してサポートします

こども家庭センターの設置による、児童福祉部門と母子保健部門のさらなる連携強化のほか、児童福祉、母子保健、療育、教育などの部門が連携し、より一層の切れ目ない相談支援体制を実現します。



地域の力を生かした子育て支援 に取り組みます



コミセン親子ひろば



地域の子育て支援団体やNPO、行政機関などが連携するネットワークを強化して、まち全体で子育て支援の取組みを進めます。

身近で子育てを支える 人材を育成します

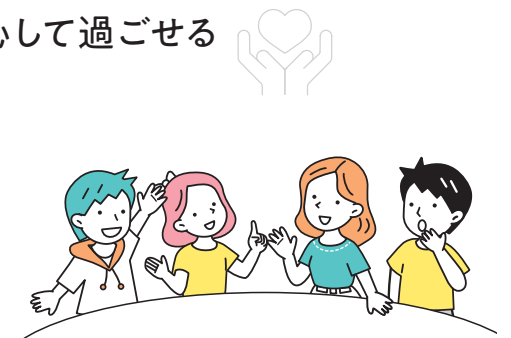
ファミリー・サポート・センターのサポート会員や子育てひろばボランティア、ピアサポーターなどの養成講座を行い、地域の子育て支援人材の発掘や育成を充実させます。



ボランティア養成講座

子どもが集い、安心して過ごせる 多様な居場所を

当事者となる子どもや若者の声を聴きながら、多様な居場所づくりを進めます。ハード面だけでなく、安心して自分らしく過ごすことができるなどソフト面も大切に居場所づくりを検討します。



学校図書館の機能の充実を 進めます



学校図書館



子どもの居場所でもある学校図書館をより充実したものにするよう、学校司書や中央図書館との連携を強化するとともに、学びの場としての効果的な活用を検討します。

これからもずっと安全で おいしい学校給食を



食材や調理方法にこだわった、安心して食べられるおいしい給食提供の取組みを続け、さらなる充実を目指します。そのうえで、学校給食費の無償化の検討を進めます。

新たな取組み

■ 子どもの権利擁護機関を設置します

子どもの権利を守り、子どもが辛いとき、苦しいときに直接相談できる窓口を設置します。子どもの権利擁護機関では、相談対応のほか、子どもの権利の普及・啓発活動を行います。



■ 部活動コーディネーターを配置します

持続可能な部活動の体制づくりのため、地域の情報収集や部活動指導員への研修など、部活動の地域連携を推進する部活動コーディネーターを配置します。



中学校での部活動指導員による指導の様子



3 平和・文化・市民生活

Peace, Culture & Civic Life



平和な社会を維持しつつ、災害や危機に強いまちづくりを継続し、市民が安全・安心に暮らしていくことができるよう、コミュニティの発展と活性化、生涯学習やスポーツの充実、産業振興などを進め、市民文化のさらなる成熟化を目指します。

基本 施策

- ① 多様性を認め合い尊重し合う平和な社会の構築
- ② 災害への備えの拡充
- ③ 安全・安心なまちづくり
- ④ 地域社会と市民活動の活性化
- ⑤ 豊かで多様な文化の醸成
- ⑥ 多様な学びや運動・スポーツ活動の推進
- ⑦ まちの魅力を高め豊かな暮らしを支える産業の振興

誰もが安全・安心に暮らし続けられるとともに、市民文化のさらなる成熟化を目指すまちへ

主な取り組みを紹介します

平和を未来へつなぐために



直接の伝承が難しくなっている戦争体験者の記憶や平和への意識を、どう若い世代に引き継いでいくのか、デジタル技術の手法も含め検討していきます。

防災意識の向上を目指した広報の検討を行います



防災の啓発活動、支援などを行う中で、伝えたい防災情報が分かりやすく伝わる広報を検討し、市民の防災に対する意識の向上を図ります。

客引き行為などに対する体制を強化します

安全パトロール隊ブルーキャップ及び吉祥寺ミッドナイトパトロール隊の隊員を増員し、客引き行為などに対する体制を強化します。



ブルーキャップの活動の様子

市民活動のさらなる活性化のために



幅広い世代が地域コミュニティや市民活動により参加しやすくなるよう、情報発信や人材の確保・育成を支援します。

まちの活気を生み出し 広く親しまれる施設へ



改修後のイメージ(プロポーザル提案時のもので変更の可能性あり)

バリアフリーや設備の老朽化などの課題を解消し、より安全で誰もが利用できる施設として、武蔵野公会堂の再整備を進めます。

学習活動の充実を図ります



武蔵野地域五大学などのさまざまな学習環境を活用して、誰もが学ぶことを楽しめるよう、学びをはじめ・学びを深める機会の提供や学んだことを発表し交流する「学びおくりあう」機会づくりを推進します。

まちの魅力創出を

CO+LAB MUSASHINO による商品の販売



市内事業者同士のマッチングやコラボレーションを進める「CO+LAB MUSASHINO(コラボむさしの)」を実施し、まちの魅力の創出を図ります。

新たな取り組み

家具転倒防止 金具などの 購入費用補助

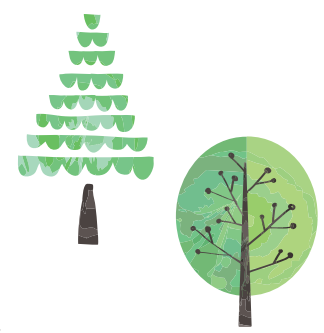
全世帯を対象に、自助の取り組みとして効果が期待される家具転倒防止対策への支援を行い、首都直下地震から市民の生命、身体、財産を守る事業を推進します。





4 緑・環境

Greenery & Environment



この分野は、地球規模の環境の変化を的確に捉えながら、市が誇る魅力の一つである緑をはじめ、水やエネルギーなどの資源を確実に守り、次世代に引き継いでいくことで、持続可能な環境都市の実現を目指していきます。

基本 施策

- ① 刻々と変化する環境問題への対応
- ② 地球温暖化対策の推進
- ③ 「緑」を基軸としたまちづくりの推進
- ④ 省エネルギー・省資源型の持続可能な都市の構築
- ⑤ 様々な環境の変化に対応した良好な生活環境の確保

魅力あふれる緑を守り 未来につなげるための取組みを進めます

主な取組みを紹介します

むさしのエコreゾートを拠点に 情報発信を行います



環境に関する総合的なネットワークの拠点施設として、情報の一元的な集約・発信を行い、環境学習及び体験の場・機会の提供など異なる主体の連携・活動を支援します。

2050年ゼロカーボンシティの実現 に向け、市民などの行動を後押し する仕組みづくりを進めます

市民などと一緒に、気候変動対策の取組みを進めていくため、「気候危機打開！むさしの市民エコアクション」の実践と定着化に向けて、市民の環境配慮行動に対し、景品と交換できるエコポイント付与プログラムを実施します。



公園緑地の整備・リニューアルを進めます

利用者のニーズに即した公園緑地の整備・リニューアルを行うことで、魅力と活気にあふれ、誰もが安心して利用できる空間を創出します。



民有地の緑を守り 次世代に 引き継ぎます

民有地の緑は、所有者の維持管理の負担感などにより年々減少傾向にあります。保存樹林などとして指定し、補助金を支給するなど、所有者の負担軽減に努めます。



多様な主体と協働し受動喫煙対策を進めます



喫煙マナーの向上を図るため引き続き啓発を実施するとともに、まちの美化の観点から関係者、事業者など多様な主体と協働し、受動喫煙対策を検討します。



適正分別で安全・安心なごみ処理を目指します

ごみ焼却施設のクリーンセンターでは、リチウムイオン電池の混入による収集・運搬・処理中の発煙・発火が課題となっています。適切な分別についてごみニュースの配布など啓発を行います。



カーボン・オフセット*の取組みなどを 検討します

二俣尾及び奥多摩での森林保全・整備事業を引き続き進めるとともに、新規拡充や森林由来のクレジットを活用したカーボン・オフセット*の取組みなどを検討します。



*カーボン・オフセット：日常生活等において避けることができない温室効果ガスの排出について、できるだけ削減努力を行い、それでも排出される温室効果ガスを排出量に見合った削減活動に投資すること等により、埋め合わせる考え方。

新たな取組み

公共施設における電力の最適化を検討します！

公共施設における再エネ電力の安定的な調達を図るための手法や、クリーンセンターのごみ発電による電力のさらなる有効利用の方法を含め、市の公共施設全体の電力の最適化について検討します。

